

ふくい・うみがめサークル



6月6日、白鳥海岸で砂浜の環境調査の方法を教わる「ふくい・うみがめサークル」の会員

きらり おばま 人

日本海側ではほとんど調査されていない「ウミガメ」。五月から保護活動を含めて調査に乗り出したのが福井県立大学の「ふくい・うみがめサークル」です。

「県内でもウミガメの産卵が行われているんですよ。本来、太平洋側に生息するはずのウミガメが、なぜ日本海側でも確認されているのか？この謎を解き明かそうとサークルを立ち上げました」と話すのは、同サークル部長の田畑絵理さん（21歳）。「主な活動は、県内全域の砂浜の環

日本海のウミガメの謎を解明したい

境調査やウミガメの情報収集などです。県内にはさまざまな砂浜があり、ウミガメがどの砂浜を好むか非常に興味があります。小浜でも産卵をする可能性は十分にありますが、この目で産卵を見ることもあるかもしれませんね」と期待は膨らみます。

日本海側でウミガメを調査する大学はこれまでなく、同サークルが初めてです。そのため、日本海を回遊する謎の多いウミガメの情報は、ほとんどないそうです。

「日本海側でも、ウミガメが漂着したり定置網にかかったりしているんですよ。ただ、その情報が外部に発信されてないだけなんです。このサークル活動がきっかけで、日本海側でのウミガメの情報ネットワークができればうれしいですね。そうすれば、ウミガメの謎の解明につながり、絶滅危惧種であるウミガメの保護活動に少しでも貢献できるのではと思っています」と話す田畑さん。そのまなざしは夢に向かって真剣です。

■同サークルに興味のある人は、県立大学小浜キャンパスの広石研究室
☎52・9617へ

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人（グループも歓迎）」を紹介してください。
情報課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

ワクワク振興アイデアBOX

●小浜公園にベンチが少なく、お年寄りが散歩に行っても腰をかけて休むところがなく困っています。

また、西部地区は重伝健保存地区で観光客が増えています。観光地に合ったベンチの設置をお願いします



小浜公園内のベンチ

ワクワク振興アイデアBOXは、市役所一階ロビーと市民サービスコーナーに設置してあります。

すべて芝生広場（旧ローラースケート場）の海側に設置してあります。ご要望の箇所については、以前鋼製のベンチを設置していましたが、腐食や老朽化のため撤去しました。本年度「地域力集結プロジェクト」にもあるように、高齢者の安全安心な暮らしや憩い・癒しの場となるよう、「ひだまり公園休憩施設設置事業」を予定しています。

年内には小浜公園など都市公園にベンチを設置する計画です。ご不便をおかけしていますが、設置の際はぜひご利用ください。

（都市整備課）

短歌

尚翠短歌会

両陛下木を植あられし植樹祭
ありて未来の夢の広がる
加茂 松宮 恵子

湿り気を含みし風が青き田の
面を撫でゆきざわめき立ちぬ
生守 藤原 浩子

萬の葉の緑は鈍く光りをり
廢屋の壁を覆ひつくして
山手 羽野 和子

俳句

小浜市俳句作家協会

ふてぶてと太る胡瓜をもてあまし
松ヶ崎 百木 文子

トラックに触れる街路樹秋暑し
三分一 小畑 公

鬼やんま夫の遺影に突きあたり
金屋 北尾 久子

山柳

若狭番傘川柳会

素通りをした人生に借りがある
小浜鹿島 青野平一郎

それゆけと強気の虫が押す背中
東勢 稲葉 秀水

いい匂い素通りさせぬ腹の虫
遠敷 岩本 和子

広告

広告

広告

広告

広告

広告